

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	L健康福祉
使用教科書	生活と福祉(実教出版)			使用副教材等	なし				

目標	・高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・高齢者の健康と生活、介護などについて理解する。 ・高齢者の健康や介護に関する技術を身に付ける。	・高齢者の自立生活支援や福祉の充実に向けて考える。 ・自分や家族、地域の豊かな生活の実現に向けて考える。	・課題解決に向けて、積極的に意見を述べる。 ・安全面や衛生面、身だしなみに気を付けて実習に取り組む。
評価方法	①高齢者の健康と生活、介護などについて理解している ②高齢者の健康や介護に関する技術が身に付いている	③高齢者の自立生活支援や福祉の充実に向けて考えることができる ④家族や地域の豊かな生活の実現に向けて考えることができる	⑤課題解決に向けて、積極的に取り組むことができる ⑥安全面や衛生面、身だしなみに気を付けて実習に取り組んでいる

担当者からのメッセージ	この科目は、高齢者の介護と福祉に関する知識と技術を習得し、高齢者の自己決定に基づく自立生活支援と福祉の充実について考え、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援を担う資質・能力を育成することをねらいとしています。急速な高齢化の進展と人口減少社会、高齢者福祉に関する制度の変化などに対応できる能力を身に付けることを目指します。また、保育検定の受検により、高齢者だけでなく保育技術の習得も目指し、保育検定3級合格を目標としています。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	3章 高齢者の自立生活支援 1節 自立生活支援の基本となる考え方 ・人間の尊厳を理解し、人権意識を高める ・自立生活支援の意義を考える	評価方法③⑤【話し合いの態度、発表態度】 評価方法③【ワークシート(記述部分)】
	5	・高齢者の自立生活支援に必要な手立てを考える	
	6	・検定を通して、保育に関する技術を習得する(保育検定3級・2級)	評価方法②【検定取得】 評価方法⑤【練習態度】 評価方法①③【定期考査】
	7	1章 人の一生と生活・健康 2節 ライフステージと健康管理 ・各ライフステージの特徴を理解する ・食生活を中心として生活習慣を分析し、問題点の把握、改善策の提案、実践を行い、生活習慣の改善を目指す ・高齢者に適した献立の調理を行う ※科目「栄養」と関連付ける	評価方法④⑤【食事バランスガイドワークシート】 評価方法⑥【実習の状況】 評価方法③【実習の記録】 評価方法①③【定期考査】
2	9	4章 高齢者支援の法律と制度 1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ 2節 介護保険制度 3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム ・現代社会における福祉制度を理解する ・介護保険制度について理解する	評価方法③【ワークシート(記述部分)】 評価方法①③【定期考査】
	10	5章 介護・看護の実習と生活支援 3節 生活支援 ・高齢者施設にプレゼントを作成する ・高齢者の特徴をふまえたプレゼントを考える	評価方法②⑤【高齢者施設へのプレゼント作り】
	11	1節 介護の実習 2節 看護の実習	
	12	・介護実習を通して介護・看護の知識・技術を習得する ・地域にある福祉施設について理解を深める ・実際に用いられている福祉用具を使用し名称や使用方法を理解する ・検定を通して、保育に関する技術を習得する(保育検定3級・2級)	評価方法②④⑥【介護実習態度、実習記録簿】 評価方法①③【定期考査】 評価方法②【検定取得】 評価方法⑤【練習態度】
3	1	・1年間のまとめ、振り返り ・自分の将来を見通し、人生計画を立てる	評価方法④【レポート課題・振り返りシート】 評価方法①③【定期考査】